

2019年度
職員番号

令和元年度

防 災 計 画

(抜粋)



徳島県立城東高等学校

目 次

徳島県立城東高等学校防災計画の概要

- 第1 総 則
- 第2 防災対策組織について
 - 1 防災対策委員会
 - 2 学校災害予防管理組織及び防災対策
 - 3 学校災害対策本部
- 第3 各災害時の対応
- 第4 避難所運営支援
- 第5 学校教育活動の再開
- 第6 防災教育及び防災訓練
- 第7 学校防災計画の生徒及び保護者への周知徹底
- 第8 地域社会との連携
- 第9 学校防災計画の継続的改善

< 学校防災計画に必要な書類 >

- ・ 防災対策委員会編成表（表1）・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ・ 学校災害予防管理組織表（表2）・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ・ 学校災害対策本部編成表（表3）・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- ・ 点検チェック票（表4）・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- ・ 教職員の緊急時連絡体制（表5）・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- ・ 災害発生時における被害報告連絡体系図・・・・・・・・ 14
- ・ 各災害に対する対策検討シート・・・・・・・・・・・・ 15
- ・ 備蓄物品管理表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- ・ 地震・津波発生時の対応・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
 - 大アリーナへの避難経路・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- ・ 火災発生時の対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
 - 防火機器等配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
 - グラウンドへの避難経路・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- ・ 風水害等発生時の対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- ・ 弾道ミサイル等に係る危機対応・・・・・・・・・・・・ 30
- ・ 避難所運営支援計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
- ・ 学校教育活動の再開に向けての計画・・・・・・・・・・・・ 34
- ・ 防災教育及び防災訓練についての年間計画・・・・・・・・ 36

- < 南海トラフ地震防災規程 >・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

P8 (表3) 学校災害対策本部編成表

(*は班長)

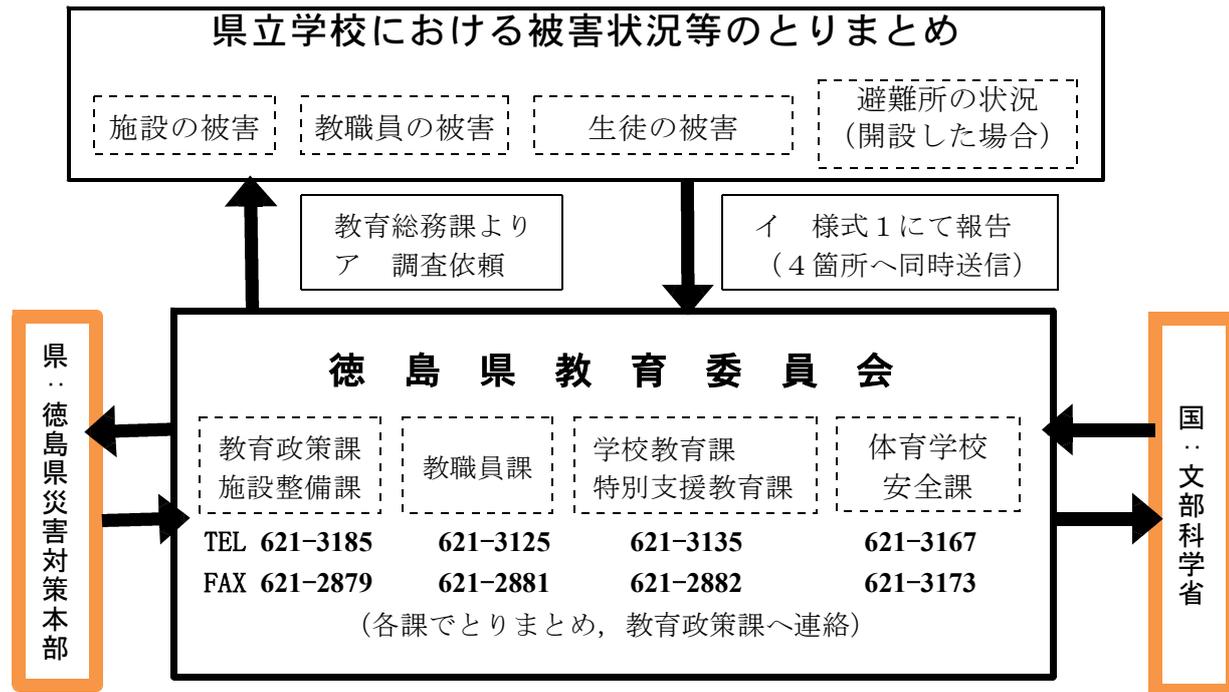
分 担	担 当 者 名	役 割
総 括	本部長 青山 校長 副本部長 久米田 教頭 " 藤川 教頭 本部員 加藤 事務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・校内放送などによる連絡や指示 ・応急対策の決定 ・教育委員会、市町村との連絡調整、報告 ・消防署等への通報 ・報道機関等との連絡、対応
総務班 (総務課長・ 環境防災課 長・教務課 長)	*中澤 教諭 加藤 教諭 中田 教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・各班との連絡調整 ・PTA等との連絡調整 ・情報収集 ・記録日誌の記入 ・その他
応急復旧班 (事務室)	*松永 主査兼係長 奈木 主査 松浦 主任 吉川 主任 その他の事務職員	<ul style="list-style-type: none"> ・応急復旧に必要な機材の調達、管理 ・非常持出し品の搬出 ・問い合わせ等への対応
安全点検・消 化班 (特活課)	*藤枝 教諭 井上 教諭 鎌田 教諭 鈴木 教諭 その他の特活課員	<ul style="list-style-type: none"> ・初期消火、安全点検 ・危険箇所の処理及び立入禁止措置 ・避難、救助活動の支援 ・被害状況の把握、避難場所の安全確認 ・施設等の構造的な被害程度の調査及び本部への報告
救護班 (生徒・人権 教育課員)	*望月 教諭 泉 教諭 山本 教諭 近藤 教諭 その他の生徒・人権教育課員	<ul style="list-style-type: none"> ・負傷者の救出、救命 ・負傷者や危険箇所等の確認及び通報 ・揺れがおさまった直後に負傷の程度を的確に把握し、本部に連絡
避難誘導・保護 者連絡班 (学年主任・H R正担任)	*服部 教諭 *金澤 教諭 *畠内 教諭 各HR正担任	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な避難経路を使つての避難誘導 ・行方不明の生徒等、教職員を本部に報告 ・連絡手段の検討・決定、保護者との連携 ・引き渡し場所の指定および引き渡し作業 ・引き渡しの際の身元確認
救急医療班 (保健厚生・ 特別支援)	*宮久保 教諭 伊丹 教諭 乾 養護教諭 松本 養護助教諭 その他の保健厚生・特別支援課員	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当の実施 ・負傷者等の医療機関への送致・連絡 ・負傷や応急手当の記録 ・応急手当備品の確認
避難所支援班 (G-Skill研究 班・総務 ・環境防災 課)	*佐中 教諭 檜原 教諭 田中 教諭 安友 教諭 松田 教諭 横島 教諭 その他のG-Skill研究班・総務・環 境防災課員	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村及び関係する地域自主防災組織等との連携、 ・学校が避難所となったときの避難所運営支援 ・避難者代表との連携 ・ボランティア受け入れと仕事の割り振り
学校再開班 (教務・図書情 報・進路課)	*古田 教諭 藤本 教諭 藤永 教諭 佐中 教諭 その他の教務・図書情報・進路課員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育活動を再開するために必要な作業・確認事項・協議

※P13 は個人情報保護の観点から非公開とする。

P14 災害発生時における被害報告連絡体系図

災害発生時の被害報告連絡体系

- ア 災害発生時には、県教委教育政策課において必要と判断した場合、教育政策課より県立学校・市町村教委へ被害調査を依頼する。
- イ 県立学校は、教職員および生徒の被害、施設の被害状況、避難所としての対応等を確認し、様式1にて、教育政策課（施設整備課含む）、教職員課、学校教育課（特別支援教育課含む）、体育学校安全課の4箇所へFAXにて同時送信する。
- ウ 報告した各被害状況について、さらに対応が必要な場合は、各課と学校が直接連絡を取り対応する。



※様式1…災害発生時緊急報告用紙

その他、災害発生時に連絡する必要がある箇所の一覧表

連絡先	電話番号	FAX
徳島市危機管理課	088-621-5529	088-621-2820
徳島県危機管理部とくしまゼロ作戦課	088-621-2298	088-621-2987
学校警備会社 セコム	088-623-3600	
徳島東消防署	088-656-1195	088-656-1205
徳島東警察署	088-624-0110	088-624-0284
徳島市民病院	088-622-5121	088-622-5313

P16 ウ 備蓄物品管理表

災害発生時に備えて、校内に備えてあるもの

備蓄品名		数量	保管場所	管理責任者	確認日
救急救助用品 保健衛生物品	保健衛生用品	6	2階器具庫	乾 養護教諭	
	担架	2	保健室前/4F体育教官室前	〃	
	AED	3	4F体育教官室前/2F職員室前/ 屋外体育教官室内	〃	
	車椅子	3	事務室前/保健室/大アリーナ	乾 養護教諭	
	携帯トイレ	10	2階器具庫	藤枝 教諭	
	毛布	150	2階多目的ホール前	中田 教諭	
	保温アルミシート	585	2階多目的ホール前ロッカー	中田 教諭	
	防災用座布団	16	2階多目的ホール前ロッカー	中田 教諭	
安全確認・誘導 用備品	ハンドマイク	7	職員室	久米田 教頭	
	発電機	3	2階器具庫	藤枝 教諭	
	ライト	5	2階器具庫	藤枝 教諭	
	ライト	10	2階多目的ホール前ロッカー	中田 教諭	
	緊急避難セット	5	2階多目的ホール前ロッカー	中田 教諭	
	ヘルメット	20	2階多目的ホール前ロッカー	中田 教諭	
	ブルーシート	10	2階器具庫	藤枝 教諭	
情報収集・通信 用備品	災害優先電話	1	事務室(653-9114)	加藤 事務課長	
	衛星携帯電話	1	職員室	久米田 教頭	
	防災行政無線(市)	1	職員室	久米田 教頭	
	防災ラジオ(市)	1	職員室	久米田 教頭	
	トランシーバー	7	職員室	久米田 教頭	
	トランシーバー	1	体育教官室	久米田 教諭	
	ラジオ	4	職員室	久米田 教頭	
消火設備品	消火器		各設置場所	加藤 事務課長	
飲料用備品	ミネラルウォーター	1050	小アリーナ(キャットウォーク)	久米田 教頭	
	非常食	960	家庭科準備室	山本 教諭	
その他	予備乾電池		事務室	松浦 主任	
	雨水濾過器	1	4 F 体育館横屋上	加藤 事務課長	

P18 イ 地震・津波が発生した場合の情報収集のための機器および方法

機器・方法	設置場所・情報集の方法	担当者
J-alert	技師室に設置, 受信と同時に放送が各教室に自動的に流れる。	久米田 教頭
テレビ・ラジオ	職員室・進路指導室に設置, 地震を感じたら教頭(または近くにいる教職員)がつける。	久米田 教頭
インターネット	職員室に設置, 常時起動, 随時チェックを行う。	各教職員
携帯電話(すだちくんメール)	各教職員で受信する。	各教職員

ウ 地震・津波が発生した場合の避難場所及びその判断基準/大アリーナへの避難経路

判断基準	避難場所と避難経路と学校災害対策本部設置場所
<p>CASE1</p> <p>・震度4以上</p> <p>○4F大アリーナに避難することが適切でないと判断される場合</p>	<p>避難場所：グラウンド中心部 災害対策本部：校長室</p> <p>集合形態：クラスごとに2列</p>
<p>CASE2</p> <p>○地震発生</p> <p>・震度4以上</p> <p>○津波発生</p> <p>・『大津波警報』発令</p> <p>・『津波警報』発令</p>	<p>避難場所：体育館棟4階大アリーナ 災害対策本部：職員室(体育教官室)</p> <p>集合形態：クラスごとに1列</p>

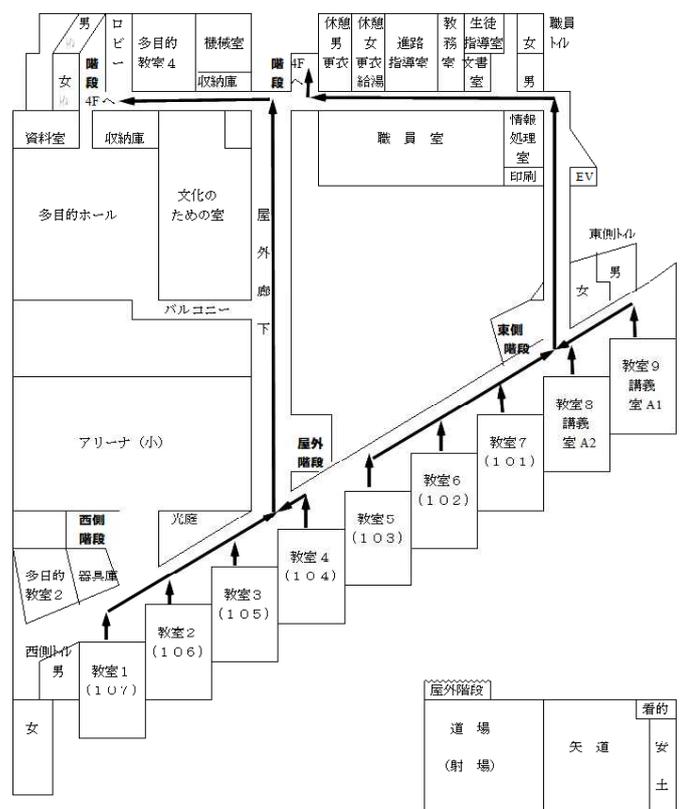
避難経路図 (大アリーナ)

[大アリーナに避難する時の一般的経路]

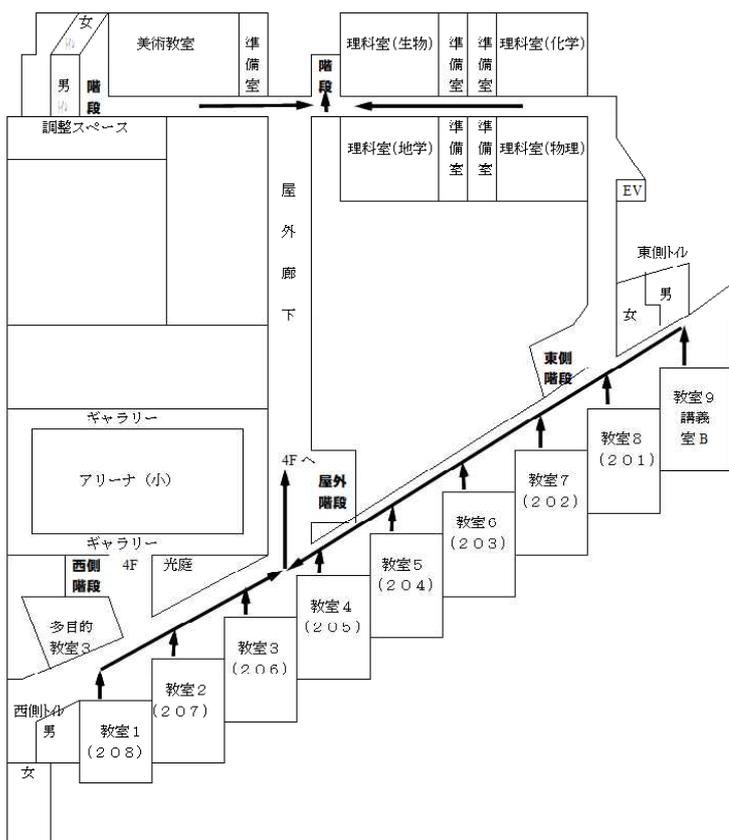
【1 階】



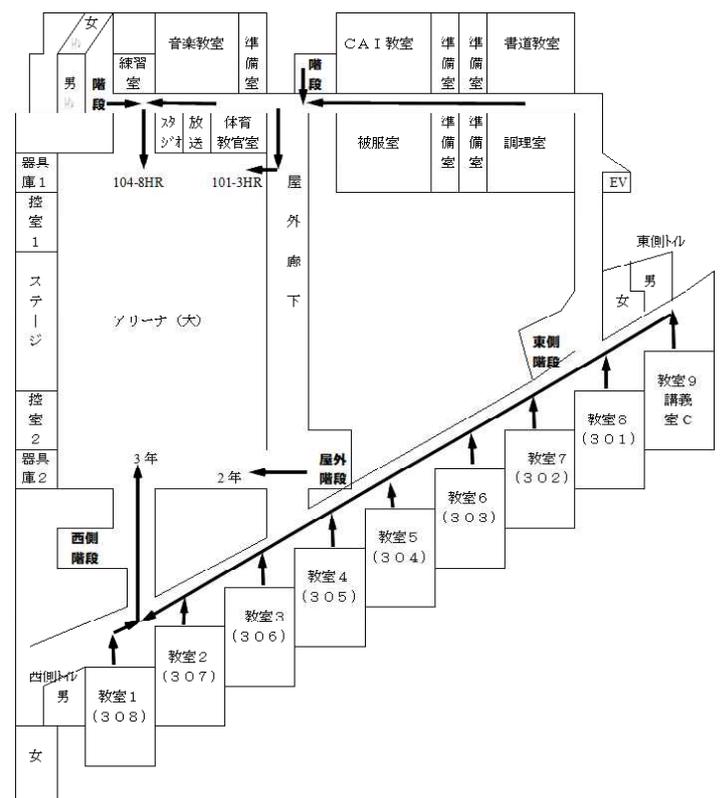
【2 階】



【3 階】



【4 階】



P20 エ 地震・津波が発生した場合、持ち出さなければならない重要書類と保管場所

品名	保管場所	担当者
関係機関連絡一覧表	校長室	校長
生徒連絡用名簿	生徒指導室	教務課長
ノートパソコン、防災関係避難時搬出データ	職員室	教務課長
引き渡しカード	職員室教務ロッカー	教務課長

オ 地震・津波が発生した場合、連絡が必要な機関

連絡責任者（久米田 教頭）				
連絡先	電話	FAX	E-mail	備考
県教委教育政策課 施設整備課	088-621-3115 088-621-3185	088-621-2879		
県教委教職員課	088-621-3125	088-621-2881		
県教委学校教育課	088-621-3135	088-621-2882		
県教委特別支援教育課	088-621-3142	088-621-3056		
県教委体育学校安全課	088-621-3167	088-621-3173		
徳島市危機管理課	088-621-5529	088-621-2820		
学校警備会社 セコム	088-623-3600			
徳島東消防署	088-656-1195	088-656-1205		
徳島東警察署	088-624-0110	088-624-0284		
徳島市民病院	088-622-5121	088-622-5313		

カ 保護者への引き渡しについて

(ア)地震・津波が発生した際、生徒の下校・学校待機・保護者への引き渡しの安全確認の基準

対応	保護者へ引き渡す際の安全確認の基準等
生徒等を下校させる場合	<ul style="list-style-type: none"> ・大津波警報、津波警報が解除されている。 ・通学路の安全が確保されている。 ・公共交通機関が支障なく運行している。
生徒を学校に待機させる場合は、安全が確認されるまで学校に待機 引き渡し場所：学校	<ul style="list-style-type: none"> ・大津波警報、津波警報が発令されている。 ・通学路の安全が確保されていない。 ・公共交通機関の運行に支障がある。

- P21 (イ) 地震・津波が発生した際、生徒を引き渡す際の保護者への連絡方法
 (電話やメールが使用できないときに、保護者が情報を得られる場所や方法を考えておく)

決定責任者：学校長 担当者：各学年主任・各HR担任・ホームページ担当教諭(図書情報課)	
連絡方法・手順	<ul style="list-style-type: none"> ・各HRの連絡名簿による電話連絡 ・城東高校ホームページおよび携帯サイトへの掲載 ・災害伝言ダイヤル(171)の活用
連絡が取れない場合の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・公共放送を利用した一斉放送 ・災害掲示板に掲示する。 ・保護者が迎えにくるまで、生徒は学校に待機させる。

- (ウ) 生徒の保護者への引き渡し方法

決定責任者：学校長 担当者：各学年主任、各HR担任	
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の確認 ・通学路の安全が確認できたら引き渡す。(大津波警報・津波警報発令時は、保護者も一緒に待機) ・必ず、保護者に引き渡した時間を記録(引き渡しカード)しておく。 	

キ 生徒が在校時以外の対応

登下校時 学校外の諸活動時 在宅時	生徒は近くの避難場所へ避難するなど、各自で安全を確保する。 各HR担任は、可能な限り、生徒の安全を個々に確認する。 ↓ 教頭に連絡
-------------------------	--

P36～P38 防災教育及び防災訓練についての年間計画

ア 学校防災教育の年間計画イ 防災訓練等の年間行事計画

月	教科等	科目	単元	主な内容
4月	地歴	地理B	世界の地形	プレートの動きと様々な境界 地震の分布と災害
5月	理科	地学基礎	固体地球とその変動	地震と災害 火山の噴火と災害 地球環境の変化
6月	数学	数学Ⅱ	指数・対数	地震エネルギーを対数で表したものをマ グニチュードという。
9月	地歴	地理B	日本の自然の特徴と人々の生活	開発に伴う災害と防災 9/1は「防災の日」。
9月	国語	現代文B	小説「朝のヨット」	ヨットによる遭難を題材とした小説を通 して当事者たちの心情を考える。
10月	地歴	日本史B	関東大震災	被害状況とその後の震災恐慌による日本 経済へのダメージ。
10月	公民	現代社会	地方自治と住民の福祉	地方自治の組織と運営
1月	英語	コミュニケーション 英語Ⅰ	Paper Architect	建築家坂茂氏の被災地支援活動を通して、 被災地支援のあり方を考える。
2月	家庭	家庭基礎	安全に過ごす	火災・自然災害への対策の方法について 建物の構造、室内環境、避難場所、経路 などについて考える。
2月	地歴	日本史B	享保の改革	明暦の大火を教訓にした広小路・火除地 の設置や町火消いは47組の整備
2月	地歴	日本史B	寛政の改革	困米や七分積金などの防災対策
2月	HR		災害と人権	実例を基に防災の意識を高め、命の大切 さと被災時の人権について考える。

月	行事名・訓練の内容	対象	担当
4月	防災オリエンテーション、避難ルート確認	教職員、各HR防災担当	防災クラブ
5月	地震津波想定避難訓練 職員研修、防災担当生徒研修、備蓄品点検	本校生徒、教職員、地 域住民等 教職員、各HR防災担当	環境・防災課 環境・防災課
6月	Jアラート緊急地震速報対応訓練	本校生徒/教職員	環境・防災課
7月	心肺蘇生法実習	教職員	環境・防災課
9月	地域防災啓発活動	本校生徒、教職員、保 護者、地域住民等	防災クラブ
10月	火災想定避難訓練	本校生徒、教職員	環境・防災課
11月	心肺蘇生法実習 Jアラート緊急地震速報対応訓練	本校生徒 本校生徒、教職員	保健厚生課 環境・防災課
2月	防災研修	本校生徒、教職員	防災クラブ

イ 防災訓練実施計画および自己評価
(地震・津波避難訓練 編)

防災訓練チェックシート		チェック日	月 日
防災訓練日程	令和元年5月21日実施予定		
内 容	<ul style="list-style-type: none"> 地震・津波を想定しての避難訓練 環境・防災課作成の「地震津波発生を想定しての避難訓練(案)」に基づき実施 		
そ の 他			
防災訓練を実施して、次の項目について自己評価をしてみましょう。 ○：できている △：改善の余地あり ×：できていない			
項	目	チェック	
(ア) 地震発生時の安全確保について			
	・机の下などに入ったり、頭部を保護したりする行動は、迅速に正しくなされたか。		
	・教職員は、決められた指示を明確にできたか。		
	・全校的指示は適切であったか。		
	・配慮を要する生徒等への対処は適切であったか。		
(イ) 4階大アリーナへの避難について			
	・避難経路での混雑等はなかったか。		
	・避難経路で地震時に避難の妨げとなる危険箇所はなかったか。		
	・生徒の避難行動に問題はなかったか。		
	・避難場所や避難経路の選択は適切であったか。		
(ウ) 4階大アリーナでの対処			
	・生徒の行動に問題はなかったか。		
	・予定された非常持ち出し物等はそろっていたか。		
	・教職員は予定された役割を遂行できたか。		
	・生徒の人員確認は迅速にできたか。		
	・情報の収集のための機材、手段は確保されたか。		
(エ) 問題点の集約(集点づけ)と改善策			
	・改善すべき問題はどのようなものか。 ----- ----- -----		
	・次回の訓練計画をどう修正すればよいか。 -----		

(火災避難訓練 編)

防災訓練チェックシート		チェック日
防災訓練日程	令和元年10月15日実施予定	
内 容 の 他	・避難経路の確認訓練並びにシューターの設置訓練 環境・防災課作成の「火災発生を想定しての避難訓練(案)」に基づき実施 ・	
防災訓練を実施して、次の項目について自己評価をしてみましょう。 ○：できている △：改善の余地あり ×：できていない		
項	目	チェック
(ア) 校舎外への避難について		
	・避難経路での混雑等はなかったか。	
	・避難経路で火災発生時に避難の妨げとなる危険箇所はなかったか。	
	・生徒の避難行動に問題はなかったか。	
	・避難場所や避難経路の選択は適切であったか。	
	・配慮を要する生徒等への対処は適切であったか。	
(イ) 校庭での対処		
	・校庭での生徒の行動に問題はなかったか。	
	・非常持ち出し物はそろっていたか。	
	・教職員は予定された役割を遂行できたか。	
	・生徒の人員確認は迅速にできたか。	
	・情報の収集のための機材、手段は確保されたか。	
(ウ) 問題点の集約(集点づけ)と改善策		
	・改善すべき問題はどのようなものか。	

	・避難計画をどう修正すればよいか。	

